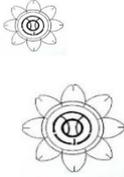


歯車

今年度、
西里小創立150周年



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 齋藤 恒治

令和8年 2月27日

nishizato



顔を見て言葉を交わす時間、 気持ちを受け止め合う関係の大切さ

「生活リズムと心の健康～家庭でのメディアコントロール」～PTA研修会～

2月13日（金）、授業参観後、山形県家庭教育アドバイザー小松ひろみ先生による講演会が開催されました。

私たちの身の回りには、スマートフォンやタブレット、ゲーム機など多様なメディアがあふれています。子どもにも大人にも、メディアは楽しみであり、学びや人とつながる大切な手段です。その一方で、利用時間や生活リズムとの兼ね合いに悩む場面も少なくありません。

今回の講演では、メディアとの向き合い方を子どもだけの課題とせず、大人を含めた地域全体のテーマとして考える視点が示されました。連絡や調べもの、買い物、決済など日常生活を支えるスマートフォンは、世代を問わず欠かせない存在です。だからこそ、上手な活用や適切な区切りを共に考えることの大切さが伝えられました。

また、生活リズムの安定が心身の健康を支えることや、メディアの使い方が気持ちや意欲に影響する可能性についても具体的な話がありました。一方的に制限するのではなく、家庭や立場に応じてルールを共有し、対話を重ねることの重要性も紹介されました。

メディアやAIが進化する時代でも、人と人との直接の関わりや思いを受け止め合う関係の大切さは変わりません。画面越しのつながりが広がる今だからこそ、顔を合わせて言葉を交わす時間の意義を改めて考える機会となりました。



今年度最後の授業参観 子ども達の生き生きとした姿を



「スーホの白い馬」～2年生読み聞かせの会～



2年生を対象に、ムーミンママクラブさんによるブックトークを行いました。教科書に掲載されている「スーホの白い馬」の読み聞かせをはじめ、物語の情景が思い浮かぶような丁寧な語りに、子どもたちはすぐに引き込まれていきました。物語の世界に浸りながら、登場人物の気持ちを想像する姿も見られました。

また、作品の舞台となるモンゴルの紹介もしていただき、広大な草原の様子や人々の暮らしについて知ることができました。民族衣装や「馬頭琴」の楽器の紹介では、実際の写真や資料を

見せていただき、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。初めて見る文化に触れ、驚きや発見の声もあがっていました。

さらに、「スーホの白い馬」に関するさまざまな本も紹介していただき、物語への理解がより深まる時間となりました。今回のブックトークを通して、本に対する興味や関心がいっそう高まった様子がうかがえました。

交通指導員さん ありがとうございます。

交通指導員さんに児童会主催で感謝する会が行われました。毎日、街頭に立って指導してくださる安達智勇さん、木村一史さんに、代表の児童から感謝のお手紙の発表と、子ども達が書いた手紙を渡しました。当日は、都合で安達さんだけの出席でしたが、子ども達の素朴な質問にも、あたたかく答えていただきました。

安全の「当たり前」には、地域の人々の努力があることを知り、感謝の思いを持つことができました。



みんな仲よく 元気よく～大なわとび大会～



大なわとび大会が行われました。体育の時間や休み時間などを利用して、練習を重ねてきた成果を発揮していました。4分間の持ち時間で、息もぴったり、クラスの心が一つになった、そんな瞬間でした。

優勝は3年生。記録は400回でした。



3月の予定

- 4 (水) 子ども文庫
- 9 (月) 職員会議・研究全体会
- 17 (火) 修了式
通知表配付 (児童)
- 18 (水) 卒業証書授与式
- 20 (金) 春分の日
- 23 (月) PTA会計監査

4月の主な予定

- 8 (水) 新任式・始業式
入学式
- 28 (火) 授業参観・PTA総会
PTA学年総会

